

PRESS RELEASE

2019/4/3 (4/10 改訂)

抽象世界

2019年5月25日(土) - 8月4日(日)

国立国際美術館



フランツ・ヴェスト《無題》2011年

Estate Franz West, Vienna, © Archiv Franz West, © Estate Franz West

開催趣旨

いま、抽象芸術が復活しています。20世紀初頭の前衛芸術としての抽象表現と、戦後美術批評に擁護されたアメリカの抽象表現が美術史上の主要な先例であり代表的動向でもあるこの分野が、近年、ヨーロッパとアメリカにおいて注目を集めています。

1970年頃のいわゆる絵画の死が、続く時代の端緒となり、80年代以降の美術活動は進歩史的な美術観から解放され、美術遺産と柔軟な関係を結びました。そうした流れの中で、抽象芸術も80年代以降、先行する抽象的な作品だけではなく、過去の美術の様々な概念や手法を活用し、融通性があって、混成的で、拡張的なものとなりました。抽象芸術創成期の絶対性は効力を喪失し、モダニズムの教条主義を超克した現況下に、新しい抽象芸術が誕生しています。

本展は、1980年から今日に至る約40年間のヨーロッパとアメリカの抽象芸術に焦点を当てます。80年以前に活動を開始した歴史的な美術家の作品を含めた独創的で魅力的な抽象作品を、絵画を中心に彫刻も交えて紹介する貴重な機会となります。

出品作家

エルズワース・ケリー (1923-2015)
ラウル・デ・カイザー (1930-2012)
ダーン・ファン・ゴールデン (1936-2017)
フランツ・ヴェスト (1947-2012)
ジョン・アムレーダー (1948-)
ギュンター・フォルグ (1952-2013)
ミハエル・クレバー (1954-)
クリストファー・ウール (1955-)
ハイモ・ツォーベルニク (1958-)
ウーゴ・ロンディノーネ (1964-)
トマ・アブツ (1967-)
スターリング・ルビー (1972-)
リチャード・オードリッチ (1975-)



エルズワース・ケリー
《斜めの黒いレリーフ》2010年
Estate of Ellsworth Kelly,
© Ellsworth Kelly Foundation,
courtesy Matthew Marks Gallery



ラウル・デ・カイザー
《お化け》
2007年 個人蔵

© Raoul De Keyser, courtesy Wako Works of Art

PRESS RELEASE

抽象世界



ダーン・ファン・ゴールデン
《ヘーレンルックス 1》1993 年
Kröller-Müller Museum, Otterlo, The Netherlands, purchased with support of the Board of Fine Arts and Architecture of the Ministry of Culture



ジョン・アムレーダー
《大さじ》2016 年
Courtesy of the Artist and Almine Rech,
© John Armleder, photo: Annik Wetter



ギュンター・フォルグ
《無題》1999 年
Estate Günther Förg, Suisse,
courtesy Hauser & Wirth and Almine Rech



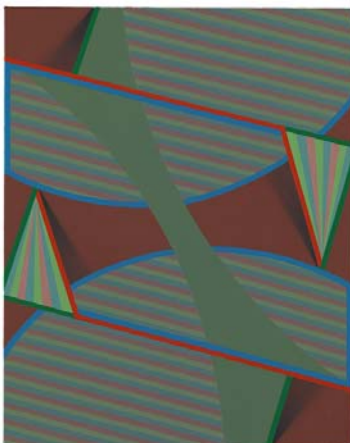
ミハエル・クレバー
《MK/M2014/15, MK/M2014/19, MK/M2014/10,
MK/M2014/12, MK/M2014/05, MK/M2014/17》
(部分) 2014 年
Collection of Jennifer and David Millstone,
courtesy Galerie Buchholz,
Berlin/Cologne/New York



ハイモ・ツォーベルニク
《無題》2010 年



ウーゴ・ロンディノーネ
《二千十四六月二十二》2015 年
公益財団法人石川文化振興財団蔵
© Ugo Rondinone



トマ・アブツ
《Tewes》2010 年
Collection of Igor DaCosta,
courtesy the Artist; greengrassi, London,
photo: Marcus Leith



リチャード・オードリッチ
《女神》2016 年
Courtesy of the artist and MISAKO & ROSEN,
© Rik Vannevel

抽象世界

開催情報

展覧会名 抽象世界
英語名 Abstraction: Aspects of Contemporary Art
主催 国立国際美術館
協賛 ダイキン工業現代美術振興財団
会期 2019年5月25日(土) — 8月4日(日)
会場 国立国際美術館 地下3階展示室 (〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55)
開館時間 10:00 — 17:00、金曜・土曜は20:00まで
※7・8月の金曜・土曜は21:00まで
※入場は閉館の30分前まで

休館日 月曜日(ただし、7月15日(月・祝)は開館し、翌日休館)

観覧料 一般900円(600円) 大学生500円(250円)

()内は20名以上の団体料金

高校生以下・18歳未満無料(要証明)・心身に障がいのある方とその付添者1名無料(要証明)

本料金で、同時開催の「コレクション特集展示 ジャコメッティと I」もご覧いただけます。

夜間割引料金(対象時間:金曜・土曜の17:00以降) 一般700円 大学生400円

一般のお客様からのお問い合わせ先 国立国際美術館 TEL: 06-6447-4680 (代表)

URL <http://www.nmao.go.jp/>

交通アクセス

京阪電車中之島線「渡辺橋駅」(2番出口)から南西へ徒歩約5分・Osaka Metro 四つ橋線「肥後橋駅」(3番出口)から西へ徒歩約10分・JR「大阪駅」、阪急電車「梅田駅」から南西へ徒歩約20分・JR大阪環状線「福島駅」、東西線「新福島駅」(2番出口)から南へ徒歩約10分・阪神電車「福島駅」(3番出口)から南へ徒歩約10分・Osaka Metro 御堂筋線「淀屋橋駅」、京阪電車「淀屋橋駅」(7番出口)から西へ徒歩約15分

大阪シティバス「大阪駅前」から、53号・75号系統で、「田蓑橋」下車、南西へ徒歩約3分

当館には専用駐車場はありません。ご来館は電車・バス等をご利用ください。

心身に障がいのある方で、車で来館される場合は、当館近隣の有料駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。

同時開催 5月25日(土) — 8月4日(日)

「コレクション特集展示 ジャコメッティと I」

次回展 8月27日(火) — 12月8日(日)

「日本・オーストリア外交樹立150周年記念 ウィーン・モダン クリムト、シーレ 世紀末への道」

「コレクション特集展示 ジャコメッティと II」

関連イベント

[講演会]「抽象の理由、経路、帰結、および現在：A・ダントーを手がかりに（仮）」

7月6日（土）14：00 —

講師：佐藤一進（神戸学院大学法学部准教授）

会場：国立国際美術館 地下1階講堂 参加無料、先着130名、当日10：00から整理券を配布します

[ギャラリー・トーク]

5月31日（金）18：00 — 〈プレミアムフライデー企画〉

6月15日（土）14：00 —

会場：国立国際美術館 地下3階展示室

参加無料（要観覧券）、開始30分前から聴講用ワイヤレス受信機を貸し出します（先着90名）

広報画像

本リリースに掲載した画像を広報用にお貸し出しいたします。

本展の広報を目的とした場合に限り、ご使用いただけます。

「広報画像申込書」にて申請してくださいませようお願いします。

「広報画像申込書」は、国立国際美術館のホームページからダウンロードしていただけます。

国立国際美術館「プレスの方へ」 URL <http://www.nmao.go.jp/press/>

画像と一緒にお送りするキャプションおよびクレジットを明記してください。

画像のトリミングや、画像に文字を重ねての使用はできません。

インターネットに掲載する場合は、無断転載禁止の旨を明記のうえ、ダウンロードできないように加工してご使用ください。

会期・会場・画像キャプションなどの確認のため、ゲラ刷り・原稿段階で広報担当までメールまたは FAX にてお送りください。

掲載（放映）終了後に、掲載出版物または録画メディアを広報担当宛にお送りください。

インターネットに掲載した場合は、URL をお知らせください。

画像の二次利用や転載はお断りいたします。使用後は画像データを破棄してください。

広報に関するお問い合わせ先

国立国際美術館 学芸課 広報担当 冬木 明里

E-mail: kouhou@nmao.go.jp TEL: 06-6447-4671(直通) FAX: 06-6447-4698(学芸課)

展覧会担当 中西 博之（国立国際美術館 主任研究員）